

「はんぶんこ」

「ふき、おいしいね」

おやつのバナナをおいしそうにいただく
1歳児の子どもたち。

モグモグ

オイシイ!

Kちゃん、全部食べたね。おかわりする?

ウン、オカワリスレ。

おかわりしたい子が次々に声を上げました。するとその時、

オカワリ! オカワリ! ヨータイ!

ハンブンコ。

.....

しちゃんか、ホッソとつぶやきました。

その言葉に他の子どもたちは、納得の表情を見せました。

そうだったね。半分にしたバナナをお皿にのせてもらってうれしそうに顔を見合わせる子どもたちの姿がありました。

半分こしたら、みんなおかわりできるよ。分けて食べようね。

お部屋には、なごやかな空気が流れていました。

5歳児の子どもたちが給食に出されるふきの皮むきのお手伝いをしました。

ほら! きれいに皮むけた!

うん! ぼくも。

いいにおいする。

家で食べたことある。

おにいちゃんたち、何してるか?

ふきの皮むきしてるが、給食に出るよ。

4歳児の子どもたちが集まってきました。

残さんと食べてね。

そして給食の時間。

ほくに、ふきたくさん入れて。

あ..これおにいちゃんたちがむいたふきた!

わーい!

ぼく昔、こどもたちと食べてた。

おいそう。ぼく、いっぱい食べる。

Mちゃん、すごいね。たくさん食べられたね。

4歳児のMちゃんは、何回もふきのかわりをしました。

うん! おいしい!

らいおんぐみさん(5歳児)の味がするからかなあ。

みんなのために、ふきの皮むきのお手伝いをしてくれた5歳児への感謝の気持ちか伝わってきました。